

1. 科目名（単位数）	世界史（2単位）	3. 科目番号	GELA1328
2. 授業担当教員	宮田 繁幸		GELA1348
4. 授業形態	講義・ディスカッション・グループワーク	5. 開講学期	秋期（池袋・王子）
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	歴史を学ぶということは過去を記憶することのみにとどまるものではない。それを踏まえ、現在をどのように生き、さらに未来をどう構築していくのかについて主体的に考えることである。つまり、現存の社会、経済、政治制度、文化、思想、技術などがどのように形成されてきたのか、それを今後どのようにしていくのかについて、総体的に捉えることが必要である。各地域の歴史、文化、民族などは共通する部分もあるが、基本的にはそれぞれが異質な存在であると考えた方がそれらに対し真摯である。世界史の授業では、様々な地域の歴史を学ぶことを通して、各地域の文化や民族の特質を理解し、多文化共生社会の実現に向けて必要となる知識や教養を身に付けることを目的とし、受講生の興味・関心のある課題を取り入れながら授業を進めていくことにする。		
8. 学習目標	大きな目標は4点である。 1 平和を維持するため、戦争を起こさないための強い気持と行動力を形成し、実践に活かすことができる。 2 現代にいたる歴史の概要を理解し、説明することができる。 3 それぞれの地域、文化、民族の特質を理解し、説明することができる。 4 多文化が共生するためには相互理解が必要であることを理解し、説明することができる。		
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	1 各授業において課題を設定し、次回授業時に提出を求める。 2 中間レポート：第6回、第11回授業時にそれまでの内容に応じた課題でレポートの提出を求める。 3 期末レポート：全授業終了後に課題を発表し期末レポートの提出を求める。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 「世界の歴史」編集委員会編「新もういちど読む山川世界史」山川出版社。		
11. 成績評価の基準と 評定の方法	1. 世界史に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への積極的参加 総合点の30％ 2 課題レポート 総合点の50％ 3 日常の学習状況 総合点の20％]		
12. 受講生への メッセージ	1. 授業は事前学習を前提に行うため、必ず事前学習は行うこと。 2. 授業で扱ったすべてのプリント類はいつでも参照できるようまとめ、期末までなくさないこと。 3. スマートフォン・携帯電話の電源を切り授業に臨むこと。 4. 授業中の私語は決してしないこと。 5. 不明な点は、授業中または授業後に教員に質問すること。 6. 授業に際しては、どのようなことでもよいので積極的に意見を述べること。		
13. オフィスアワー	初回授業時に周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション：シラバス解説、序論	事前学習	今まで学習してきた世界史で疑問に思ったことを整理しておく。教科書の PP. 1～12 を読んでおく。
		事後学習	授業での重要ポイントをノートに整理しておく。
第2回	古代Ⅰ：オリエント、ギリシア・ローマ	事前学習	教科書の pp. 17～35 を読み、不明な用語等を調べておく。
		事後学習	古代オリエント、ギリシア・ローマの文明がその後の世界に与えた影響をまとめておく。
第3回	古代Ⅱ：古代中国（商～漢）	事前学習	教科書の pp. 43～54 を読み、不明な用語等を調べておく。
		事後学習	中国の伝統思想、儒家、法家、道家などについてその特徴をまとめておく。
第4回	中世Ⅰ：中世東アジア① 三国～宋	事前学習	教科書の pp. 61～73 を読み、不明な用語等を調べておく。
		事後学習	魏晋南北朝から宋代に至る政治・社会の変化をまとめておく。
第5回	中世Ⅱ：中世東アジア② 元～清	事前学習	教科書 pp. 73～88 を読んでおく。
		事後学習	元から清王朝までの変遷と、完成した中華帝国の特徴をまとめておく。
第6回	中世Ⅲ：イスラム世界 中間レポート①提出	事前学習	教科書の pp. 89～103 を読み、不明な用語等を調べておく。
		事後学習	イスラム世界拡大の概要を整理し、イスラム教の特徴をまとめておく。

第 7 回	中世Ⅳ：中世ヨーロッパ：カトリック教会と十字軍	事前学習	教科書の pp. 104～124 を読み、不明な用語等を調べておく。
		事後学習	中世ヨーロッパにおけるカトリック教会の意義と十字軍運動の影響についてまとめておく。
第 8 回	近代Ⅰ：大航海時代、ルネサンス	事前学習	教科書の pp. 129～140 を読み、不明な用語等を調べておく。
		事後学習	大航海時代とルネサンスが残した影響についてまとめておく。
第 9 回	近代Ⅱ：宗教改革、絶対王政	事前学習	教科書の pp. 140～158 を読み、不明な用語等を調べておく。
		事後学習	プロテスタント各派とカトリック側の対抗措置を整理しておく。主要国の絶対王政についてまとめておく。
第 10 回	近代Ⅲ：市民革命、産業革命	事前学習	教科書の pp. 159～193 を読み、不明な用語等を調べておく。
		事後学習	18 世紀～19 世紀の各国の革命の重要点をまとめておく。産業革命について、その後の政界に与えた影響を整理しておく。
第 11 回	近代Ⅳ：欧米列強の進出とアジア 中間レポート②提出	事前学習	教科書の pp. 194～212 を読み、不明な用語等を調べておく。
		事後学習	オスマン帝国、インド、清朝を中心に欧米列強の進出の概要をまとめておく。
第 12 回	現代Ⅰ：帝国主義と第 1 次世界大戦	事前学習	教科書の pp. 217～240 を読み、不明な用語等を調べておく。
		事後学習	アジアの民族運動と第 1 次世界大戦についてまとめておく。
第 13 回	現代Ⅱ：ベルサイユ体制から第 2 次世界大戦	事前学習	教科書の pp. 241～268 を読み、不明な用語等を調べておく。
		事後学習	第 2 次世界大戦の原因と結果についてまとめ、再び繰り返さないためには何が重要か、自分の考えを整理する。
第 14 回	現代Ⅲ：戦後世界	事前学習	教科書の pp. 269～300 を読み、不明な用語等を調べておく。
		事後学習	戦後の世界構造の構築とその変容についてまとめておく。
第 15 回	現代Ⅳ：21 世紀の世界 期末レポート提出	事前学習	今まで学習した内容を振り返り、世界史学習の意義について考えておく。
		事後学習	これからの世界の歴史をどう構築していきたいか、自分の理想をまとめておく。